

● 概要

DL-タイプFは、KATO DF200に合わせ設計したNEXT18規格用 ExpBoardです。これを使えばDCC化や、DCCサウンド対応がより簡単にできます。

なお、作例ではプリント基板の交換だけで収納でき、車体側の切削加工は不要でした。（車体やデコーダの個体差はあるかと思いますので保証ではありません）



注意：製品やDCCデコーダの破損を防ぐため、構造を理解してから作業を始めてください。

● 仕様

外形	70mm×14mm×0.6mm（プリント基板本体のみ、電子部品を除く）
DCC入力	19Vmax (DCCデコーダの電源電圧範囲を超えない範囲でお使いください)
モータ出力	最大500mA（利用されるデコーダの最大電流以下でお使いください）
ヘッドライト	基板上にLED用パッドが準備されています。純正基板のLEDを移設することも可能です。
室内灯	なし

● 組み立て方

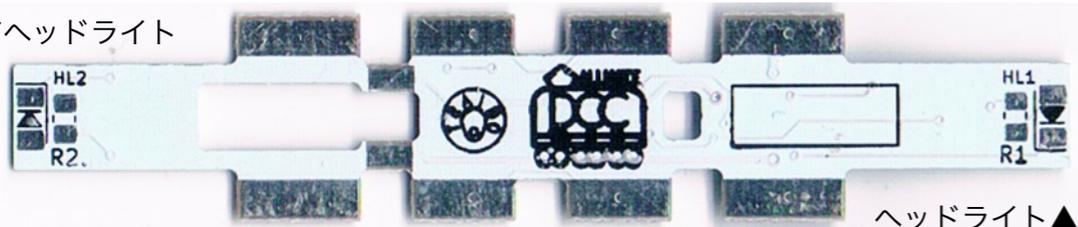
(1) R1,R2 にLED用の抵抗（680Ω/2012サイズ）をはんだ付けしてください。

(2) ヘッドライト用サイドビューLED(白)を、取り付けてください。

参考部品 秋月電子 I-01815 NSSW008BT

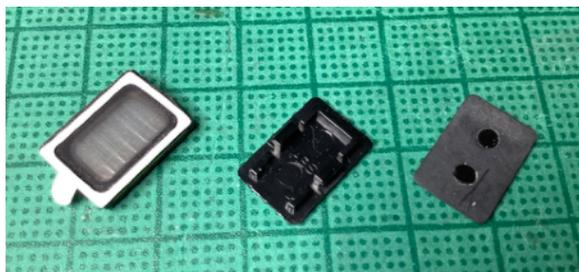
注意：LEDの極性は、プリント基板シルク印刷（-▶|-）になります。

▼ヘッドライト



<DLタイプFはLEDが下面になります>

(3) スピーカーとエンクロージャを準備します

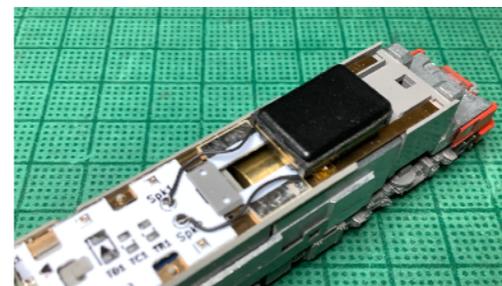
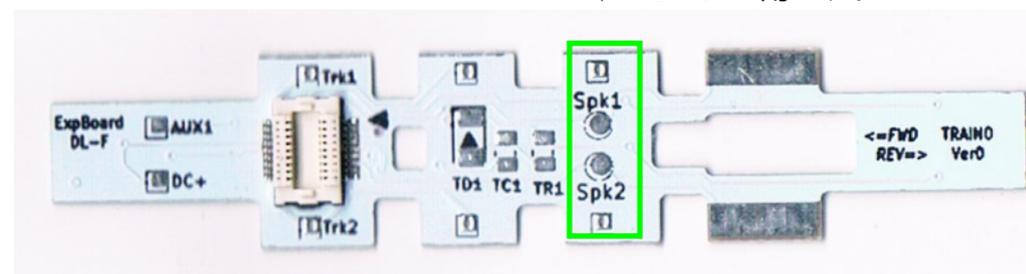


左は15mmx11 mm(nagoden様頒布品)のスピーカーとエンクロージャの蓋を使う例です。

エンクロージャは屋根裏に当たらないように薄型にしてください。

(4) スピーカー端子から細い線でSpk1,Spk2に繋がます。

▼スピーカー用パッド



スピーカーはプリント基板の端（LED部）に揃えるとボディの隙間にちょうど入ります。

また、モーター固定パーツを元に戻して固定してください。

注意：スピーカー裏面、配線、プリント基板、車両終電板間で短絡しないように、カプトンテープ等で確実に絶縁してください。短絡するとデコーダが焼損する場合があります。

(5) テスト用デコーダ=>Loksound5 microの順番に機能を確認します。



Loksound5は外側を向くようにつけます。中央部はラジエーター部で屋根裏の隙間が少ないため開けてください。

また、稀にモーターが回転しない場合があります。そのときはプリント基板を一度取り外し、モーター端子を整えてプリント基板にきちんと当ててください。

(6) ボディを装着して、最終確認を行います。

プリント基板の先端が下側を向きますと、LEDの光が上側のヘッドライトが暗くなります。少し上向きになるように癖をつけてください。

注意事項：

作例は、<https://traino-info.blogspot.com/2020/10/expboardkato-df200.html>に掲載していますので参考にしてください。

何か商品にお気づきの点がございましたら、

traino@desktopstation.net にご連絡をお願いします。

2020-11-2 改番0